

## 「スポーツ振興」にとどまらない地域振興の姿

～江戸時代創業の鈴与とユニコーンベンチャーのメルカリのトップ対談～

### 第22回 Japan Times Satoyama カフェ



Sustainable Japan Network（代表：末松弥奈子 株式会社ジャパントイムズ 代表取締役会長兼社長）は、2022年3月8日に「第22回 Japan Times Satoyama カフェ」をオンラインで開催いたします。

スポーツ業界では、野球、サッカーにとどまらず、バスケットボール、バレーボール、卓球など、プロリーグの発足が進んでいます。それに伴い、ホームタウン構想やボールパーク構想など、球団あるいは競技場を用いた地域活性化のモデルケースも生まれています。

また、これまでは「球団」、「メディア」そして「ファン」で成り立つ関係だったものが、最近ではテクノロジーやSNSなどが生み出すインパクトを通じて、地域全体を巻き込む新しい関係性が作られています。ファンクラブへの地域通貨の配布や、地域で育つ子どもたちへのICT教育の実践、自治体の健康づくり事業支援など、スポーツの枠を超えた連携事業も進んでいます。そして、その結果「シビックプライド」の醸成にも繋がっているのです。

今回の里山カフェでは、「する・見る・支える」といった関わり方を超えた「スポーツ」のあり方を、先進事例の紹介を合わせて地域活性化の視点から議論します。

## <概要>

日時：2022年3月8日 13:00-14:00

テーマ：「スポーツ振興」にとどまらない地域振興の姿

参加費：無料

配信：YouTube Live

申し込み：<https://satoyamacafe22.peatix.com/>

主催：Sustainable Japan Network

## <登壇者>

### <小泉文明（こいずみ ふみあき）氏経歴>

株式会社メルカリ取締役社長兼 COO

株式会社鹿島アントラーズ・エフ・シー代表取締役社長

早稲田大学商学部卒業後、大和証券 SMBC にてミクシィや

DeNA などのネット企業の IPO を担当。2006 年よりミクシィ

にジョインし、取締役執行役員 CFO としてコーポレート部

門全体を統轄する。2012 年に退任後はいくつかのスタートア

ップを支援し、2013 年 12 月株式会社メルカりに参画。2014 年 3 月取締役就任、2017 年 4 月取締役社長兼 COO 就任、2019 年 9 月取締役 President（会長）就任。2019 年 8 月より株式会社鹿島アントラーズ・エフ・シー代表取締役社長兼任。



### <鈴木健一郎（すずき けんいちろう）氏経歴>

鈴与株式会社 代表取締役社長

清水エスパルス代表取締役会長

1975 年生まれ、早稲田大学卒業。日本郵船入社後、2009 年より

鈴与取締役となる。2011 年からは常務取締役としてグループ食

品事業担当やロジスティクス事業本部長委嘱を務め、専務取締

役を経たのち、2015 年代表取締役社長に就任。現在、鈴与ホール

ディングス代表取締役会長、清水エスパルス代表取締役会長なども兼務。



### <モデレーター 吉田 雄人氏>

前 横須賀市長

Glocal Government Relationz 株式会社 代表取締役

1975 年生まれ。2009 年、横須賀市長選挙で初当選し、2013 年に再選。2017 年から「地域課題解決のための良質で戦略的な官民連携の手法」であるガバメントリレーションズ（GR）を軸に事業を展開している。早稲田大学環境総合研究センター招聘研究員。

参加登録：<https://satoyamacafe22.peatix.com/>

## ■ Japan Times Satoyama カフェとは

全国各地の里山・里海で活躍している里山資本主義（※）の実践者の方々に講演していただき、地域と都心部、そして他地域とのつながりを創出することを目的としています。実践者にとっては、活動を国内外に発信することで「関係人口」へのアプローチの機会となります。また、里山推進の取り組みに関心の高い都心層にとっては、地方への理解を深めるまたとない機会になります。

※里山資本主義とは、日本古来・自然由来のものに新たに交換可能な付加価値を与えて、地域内で循環させる仕組みです。海・山・川などの自然、地域における人間関係など、お金では買えない資産を大切に、テクノロジーの活用や U ターン・I ターン人材による新規事業の立ち上げ、女性の活躍など、それぞれの地域で独自の取り組みが広がっています。

## ■ The Japan Times（ジャパントイムズ）について

The Japan Times は、1897 年(明治 30 年)に創刊された、日本で最も歴史のある英字新聞です。1996 年にホームページを開設。現在はソーシャルメディアも活用し、日本のいま、そして未来を、世界に向けて発信しています。読者は、国内在住の外国人に加えて、世界各国の政府高官やシンクタンクはもちろん、各国のメディアにも日本に関する信頼できる情報ソースとして活用されています。過去のアーカイブは、海外の大学や公立の図書館などで、日本やアジアの歴史研究に活用されています。

The Japan Times Online：<https://www.japantimes.co.jp/>

## <問い合わせ>

株式会社ジャパントイムズキューブ

Sustainable Japan by The Japan Times

担当：熊野

E-mail: [pr@japantimes.co.jp](mailto:pr@japantimes.co.jp)